

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身もしくはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身もしくはご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2008年1月1日～2016年12月31日の間に、大腸癌のために虎の門病院消化器外科に入院・通院し、大腸切除を受けられた方のうち、病理学的にStageⅢと診断された方

【研究課題名】

大腸癌手術患者の短期及び長期アウトカムに対する内臓脂肪量の影響について

【研究の目的・背景】

《目的》 内臓脂肪/皮下脂肪比が大腸癌手術患者の短期及び長期成績に与える影響について検討することが目的です。

《研究に至る背景》 大腸癌において肥満と術後合併症の増加との関連性についての報告は多数ありますが、内臓脂肪量を基に比較・検討された報告は未だ少ないです。また長期予後の側面でも内臓脂肪/皮下脂肪比が肝細胞癌や膵癌の予後に影響しているという報告もあり、内臓脂肪量が長期予後に与える影響が注目されていますが大腸癌手術において詳細な検討がなされた報告はないのが実情です。そのため今回は内臓脂肪量、特に内臓脂肪/皮下脂肪比に注目しそれが大腸癌手術患者の短期及び長期アウトカムに与える影響について検討することを目的にしています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年3月1日～2023年5月31日

【単独/共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 消化器外科、的場周一郎 のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で

廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査・画像データ、診療記録、手術記録、麻酔記録、病理診断レポートなど

【虎の門病院における研究責任者】

消化器外科 ・ 的場周一郎

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身もしくはご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身もしくはご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2023年5月15日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様
に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 虎の門病院 消化器外科 ・ 的場 周一郎

電話 03-3588-1111(代表)